

2018年3月期 第3四半期決算 連結業績概要

2018年2月7日

太陽誘電株式会社
経営企画本部長
増山 津二

2018年3月期 第3四半期

- 売上高661億円(前四半期比3%増)、営業利益70億円(同30%増)。
- スマートフォン向けコンデンサ、インダクタの売上が高水準で推移。自動車向けや、サーバーなど産業機器向けも好調継続。

2018年3月期 業績予想

- 11月に発表した通期業績予想を上方修正。
- 自動車・産業機器市場を中心に、コンデンサの旺盛な需要が継続する見込み。

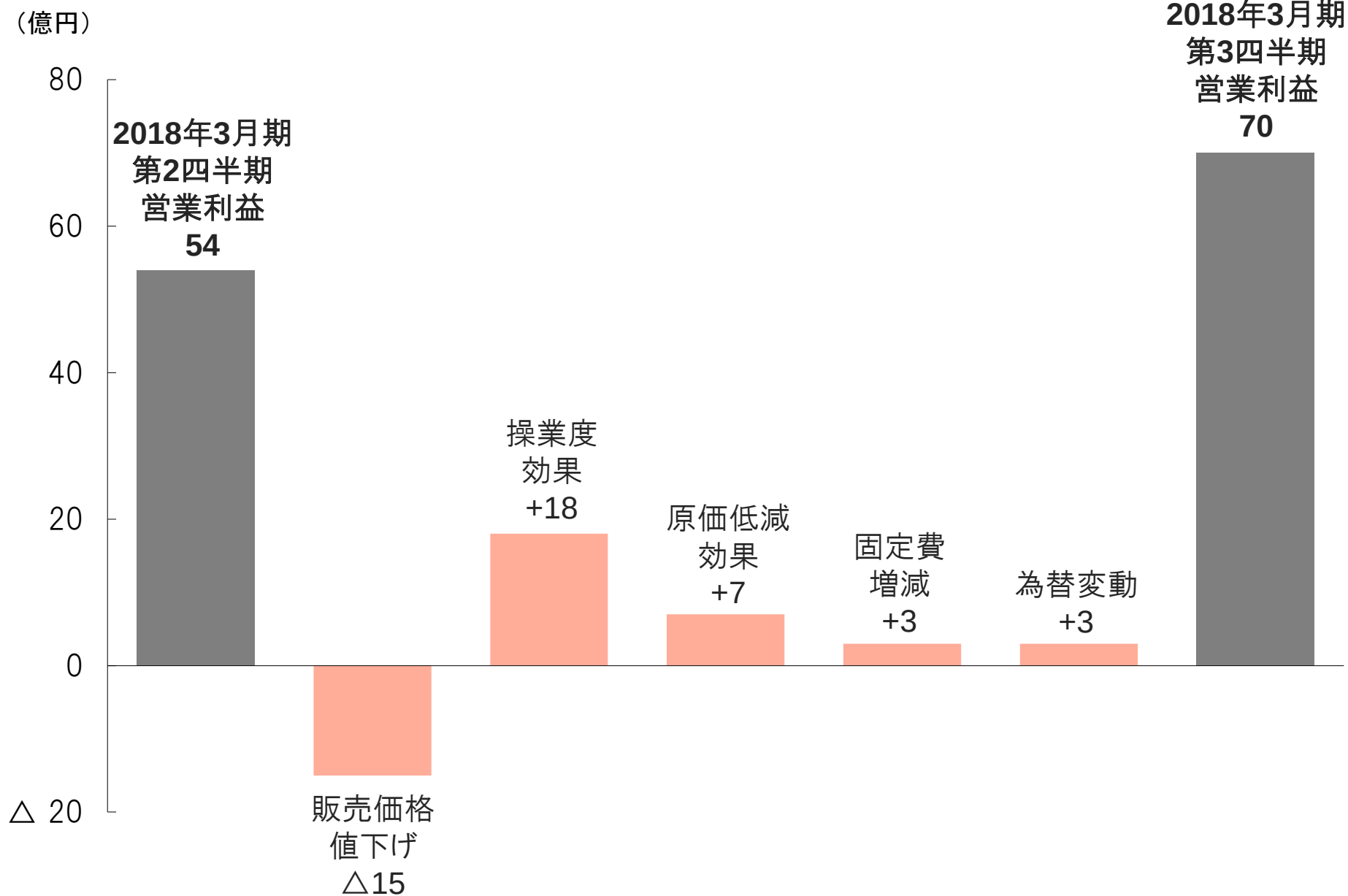
連結業績概要(前四半期比)

百万円	2018年3月期 第2四半期		2018年3月期 第3四半期		増減	
売上高	64,107	100.0%	66,053	100.0%	1,945	3.0%
営業利益	5,362	8.4%	6,985	10.6%	1,622	30.3%
経常利益	5,599	8.7%	6,596	10.0%	996	17.8%
親会社株主に 帰属する当期純利益	4,265	6.7%	5,301	8.0%	1,035	24.3%

対米ドル期中平均レート	111.11円	112.23円	1.12円円安
為替変動による影響額	売上高 +7億円、営業利益 +3億円 ※米ドル以外の通貨影響含む		

研究開発費	2,624	2,373	△250	△9.5%
設備投資額	5,896	5,717	△178	△3.0%
減価償却費	6,282	6,380	98	1.6%

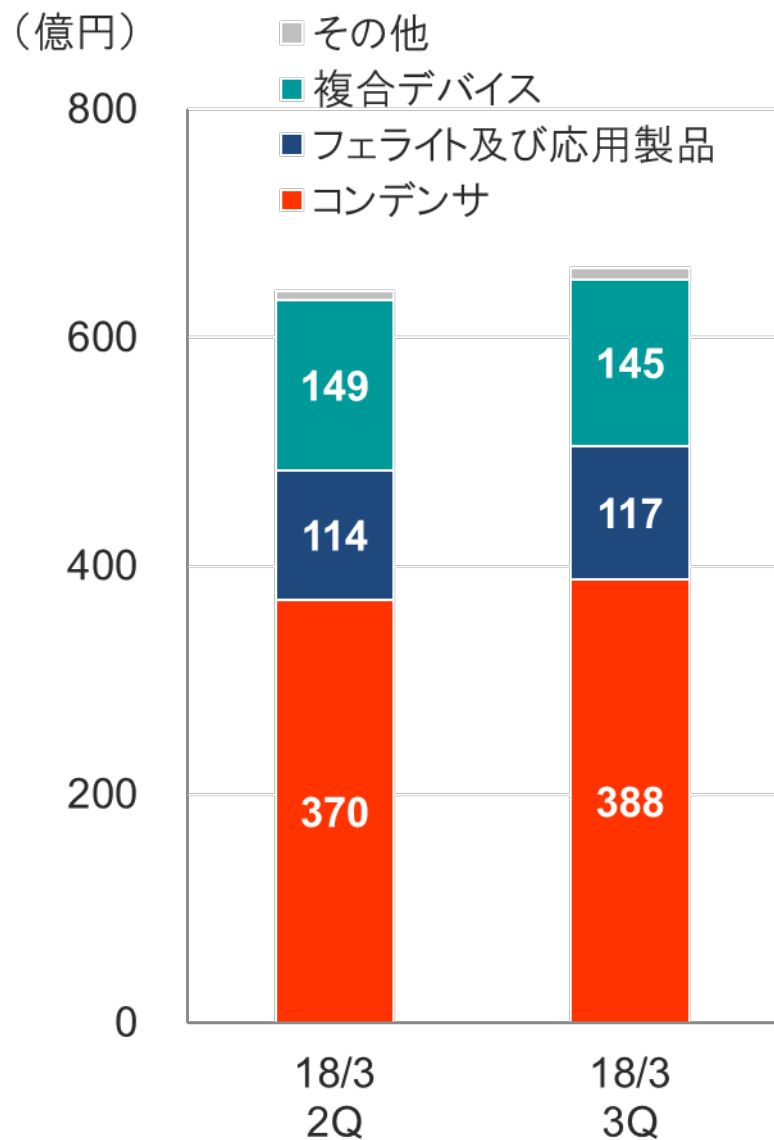
営業利益増減要因(前四半期比)



製品別売上高(前四半期比)

百万円	2018年3月期 第2四半期		2018年3月期 第3四半期		増減	
コンデンサ	37,019	57.7%	38,800	58.7%	1,781	4.8%
フェライト及び応用製品	11,376	17.7%	11,746	17.8%	370	3.3%
複合デバイス	14,871	23.2%	14,533	22.0%	△338	△2.3%
その他	840	1.3%	972	1.5%	132	15.8%
合計	64,107	100.0%	66,053	100.0%	1,945	3.0%

製品別売上高(前四半期比)



■ コンデンサ (前四半期比+5%)

- ・ スマートフォン向け、自動車向け、サーバー向けなどが増収。

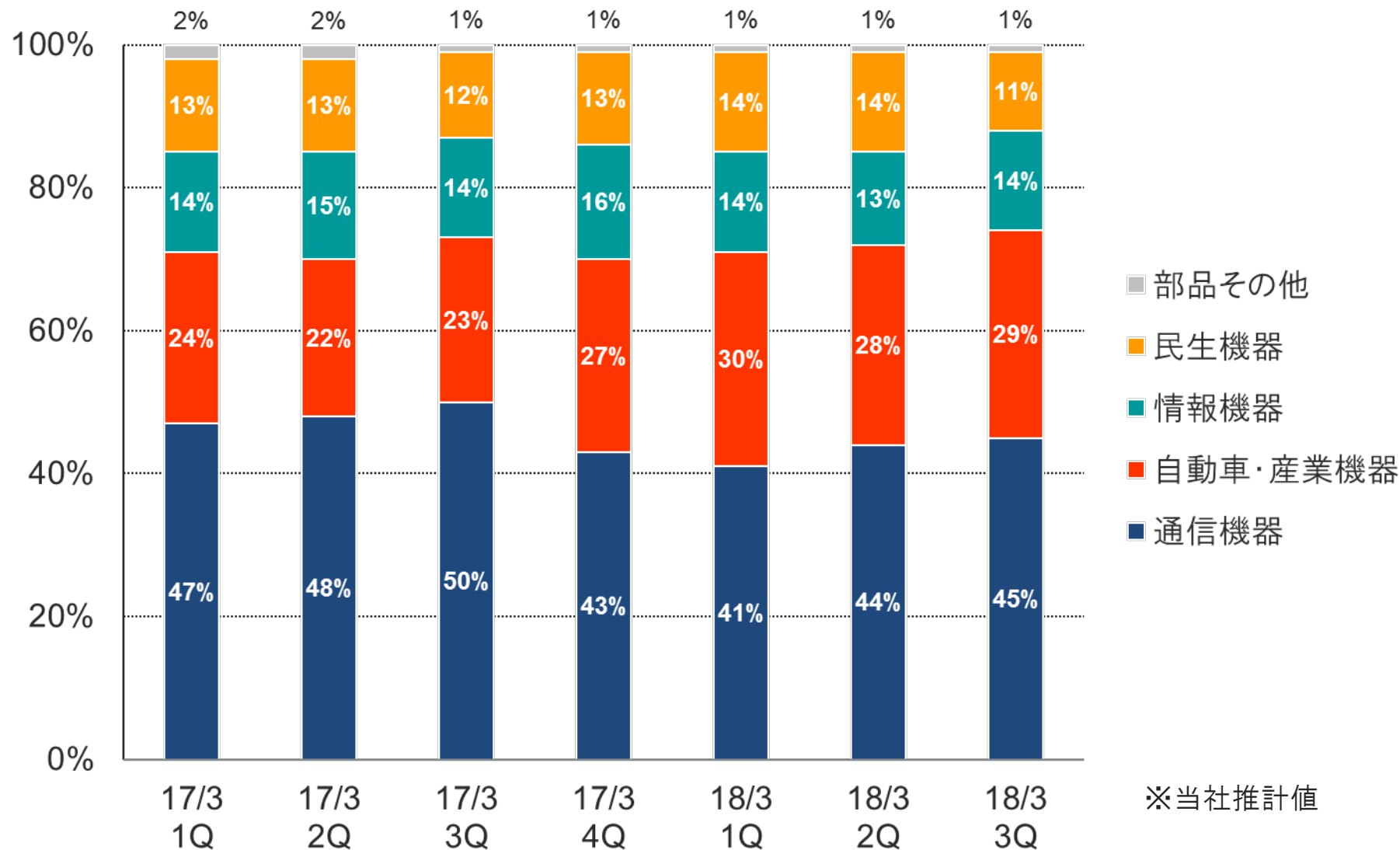
■ フェライト及び応用製品 (前四半期比+3%)

- ・ スマートフォン向けに加え、自動車向けも増収。

■ 複合デバイス (前四半期比△2%)

- ・ 電源モジュール、通信デバイス(FBAR/SAW)とも減収。

電子部品の用途分野別売上構成



2018年3月期 連結業績予想

2018年3月期 連結業績予想

百万円	通期 前回予想		通期 今回予想		増減	
売上高	242,000	100.0%	243,000	100.0%	1,000	0.4%
営業利益	17,000	7.0%	19,000	7.8%	2,000	11.8%
経常利益	18,000	7.4%	19,000	7.8%	1,000	5.6%
親会社株主に 帰属する当期純利益	12,000	5.0%	14,000	5.8%	2,000	16.7%
研究開発費	11,000		11,000		0	0.0%
設備投資額	27,000		27,000		0	0.0%
減価償却費	27,000		27,000		0	0.0%

第4四半期以降の期中平均為替レートは1米ドル110円と想定

2018年3月期 製品別売上高予想

百万円	通期 前回予想	通期 今回予想	増減	
コンデンサ	139,000	142,000	3,000	2.2%
フェライト及び応用製品	41,500	41,500	0	0.0%
複合デバイス	59,000	56,500	△2,500	△4.2%
その他	2,500	3,000	500	20.0%
合計	242,000	243,000	1,000	0.4%

補足資料

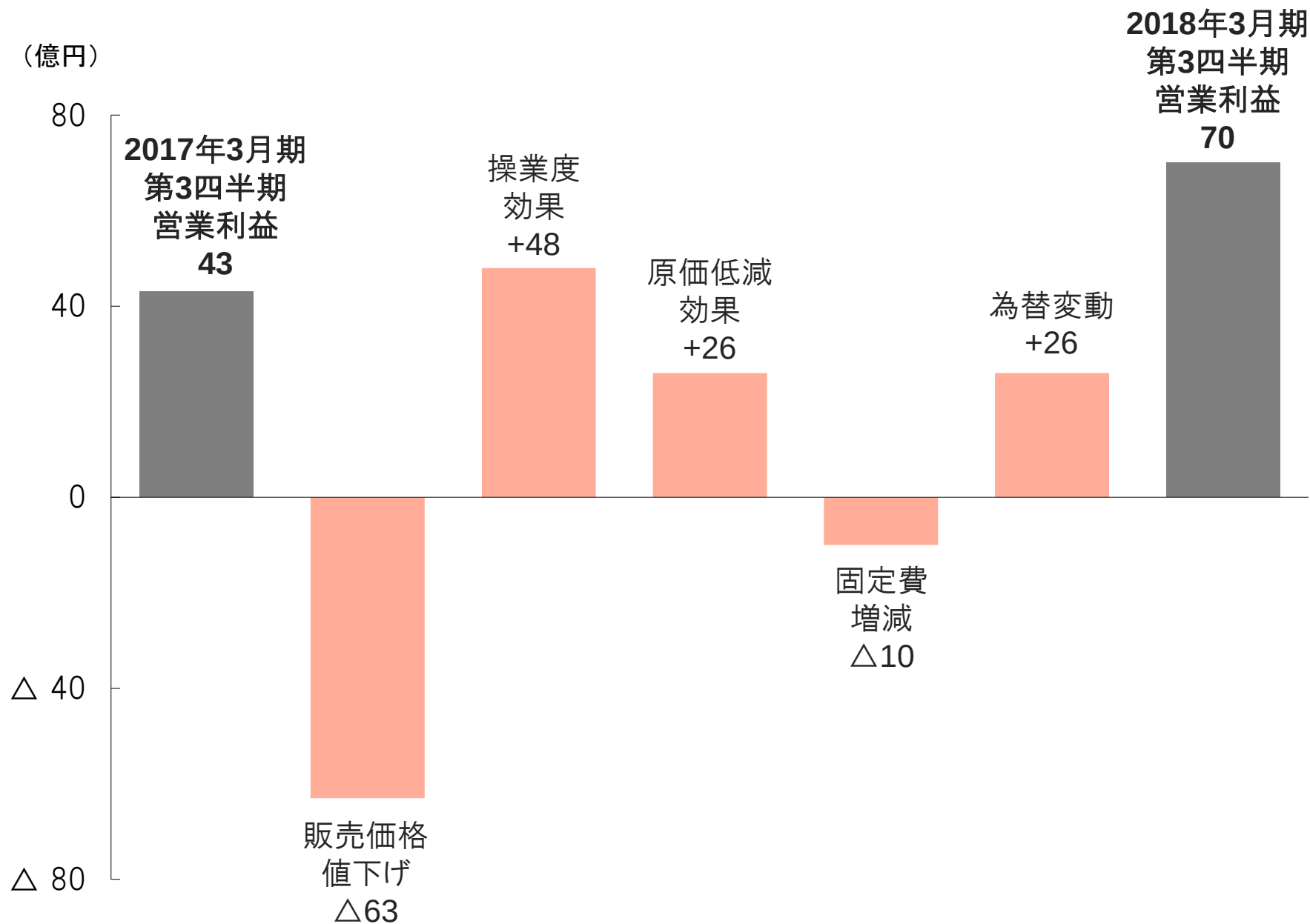
連結業績概要(前年同期比)

百万円	2017年3月期 第3四半期		2018年3月期 第3四半期		増減	
売上高	60,185	100.0%	66,053	100.0%	5,867	9.7%
営業利益	4,298	7.1%	6,985	10.6%	2,686	62.5%
経常利益	6,676	11.1%	6,596	10.0%	△80	△1.2%
親会社株主に 帰属する当期純利益	4,067	6.8%	5,301	8.0%	1,233	30.3%

対米ドル期中平均レート	104.69円	112.23円	7.54円円安
為替変動による影響額	売上高 +40億円、営業利益 +26億円 ※米ドル以外の通貨影響含む		

研究開発費	2,635	2,373	△261	△9.9%
設備投資額	8,412	5,717	△2,695	△32.0%
減価償却費	6,231	6,380	148	2.4%

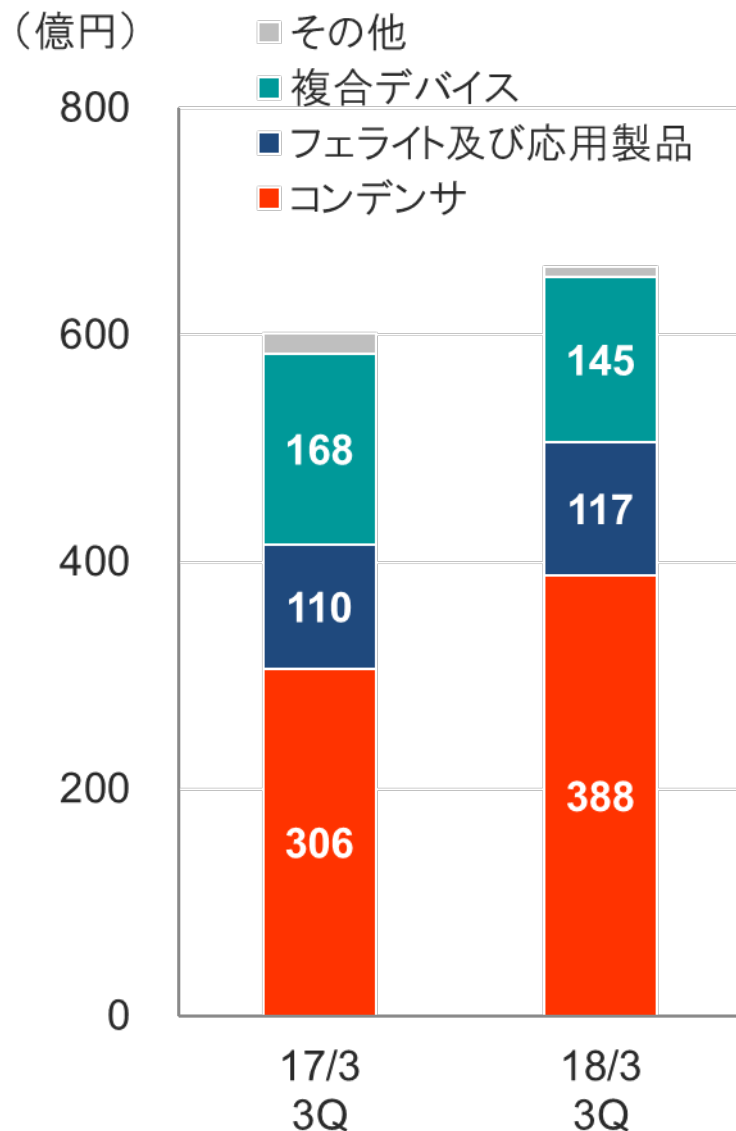
営業利益増減要因(前年同期比)



製品別売上高(前年同期比)

百万円	2017年3月期 第3四半期		2018年3月期 第3四半期		増減	
コンデンサ	30,580	50.8%	38,800	58.7%	8,220	26.9%
フェライト及び応用製品	10,959	18.2%	11,746	17.8%	787	7.2%
複合デバイス	16,804	27.9%	14,533	22.0%	△2,271	△13.5%
その他	1,841	3.1%	972	1.5%	△868	△47.2%
合計	60,185	100.0%	66,053	100.0%	5,867	9.7%

製品別売上高(前年同期比)



■ コンデンサ (前年同期比+27%)

- 自動車、通信基地局、サーバー、ゲームなど多くの機器向けで増収。

■ フェライト及び応用製品 (前年同期比+7%)

- 自動車・産業機器向け、通信機器向けが増加。

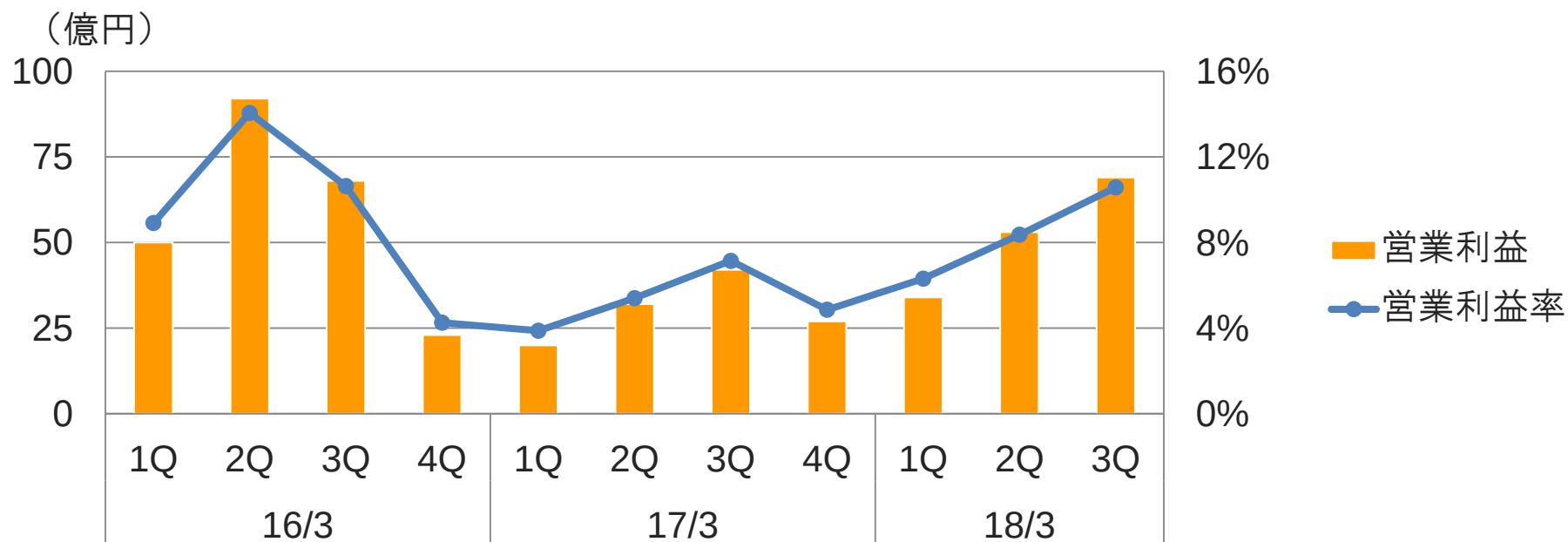
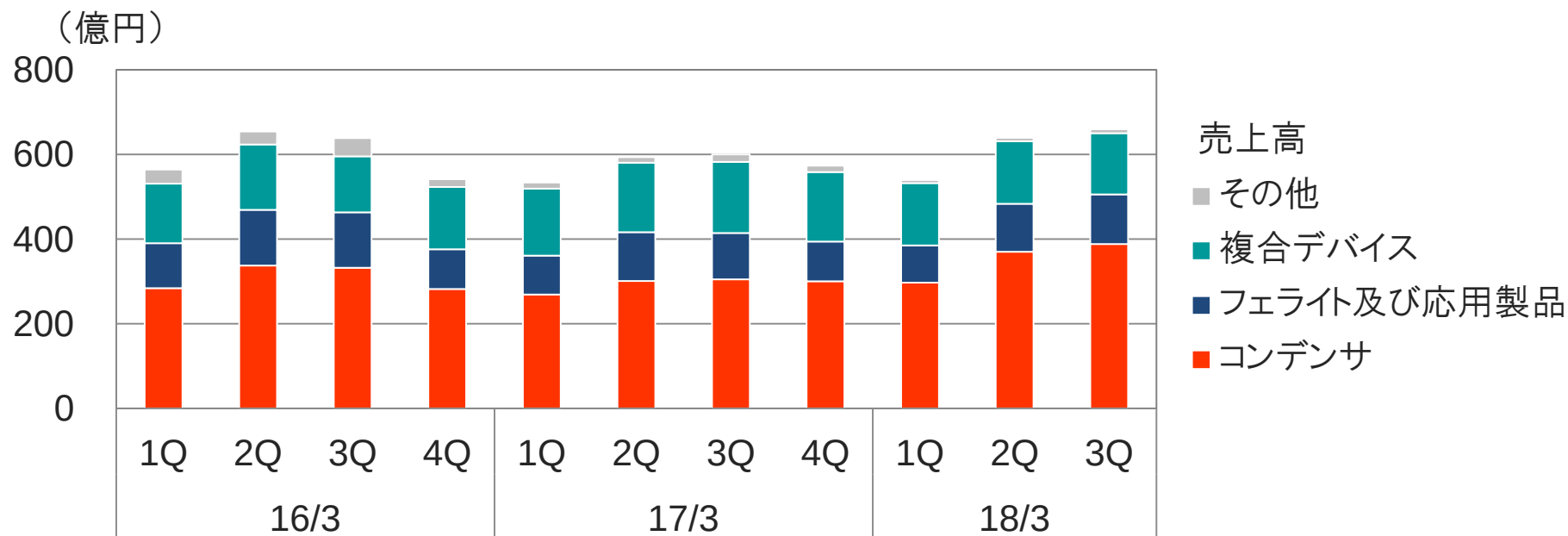
■ 複合デバイス (前年同期比△14%)

- 中華圏スマートフォンの生産調整により、通信デバイス(FBAR/SAW)が大きく減少。

連結業績推移(四半期)

百万円	2016年3月期				2017年3月期				2018年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	56,518	65,591	63,967	54,308	53,471	59,561	60,185	57,498	54,072	64,107	66,053
コンデンサ	28,427	33,798	33,218	28,231	26,963	30,120	30,580	30,002	29,747	37,019	38,800
フェライト 及び応用製品	10,634	13,236	13,145	9,446	9,243	11,594	10,959	9,475	8,847	11,376	11,746
複合デバイス	14,153	15,455	13,292	14,794	15,860	16,490	16,804	16,424	14,711	14,871	14,533
その他	3,302	3,101	4,310	1,836	1,404	1,355	1,841	1,595	766	840	972
営業利益	5,037	9,216	6,804	2,311	2,074	3,216	4,298	2,795	3,412	5,362	6,985
経常利益	5,052	8,785	7,266	1,159	829	2,202	6,676	1,491	4,421	5,599	6,596
親会社株主に 帰属する 当期純利益	3,058	4,890	6,433	368	224	683	4,067	454	3,113	4,265	5,301
対米ドル 期中平均レート	120.24 円	123.41 円	120.97 円	118.39 円	110.70 円	103.69 円	104.69 円	114.63 円	111.81 円	111.11 円	112.23 円

連結業績推移(四半期)



当資料に記載されている、当社（太陽誘電株式会社、および当社グループ）に関する計画、業績見通し、戦略、確信等のうち、将来の記述をはじめとする歴史的事実ではないものは、すべて現在、当社が入手している情報に基づいて行った予測、想定、認識等を基礎として記載しているものであり、その性質上、客観的に正確であるという保証、ならびに将来その通りに実現するという保証はありません。実際の業績は、数々の要素により、現状の見通し等とは大きく異なる結果となりえ、かつ、当社が事業活動の中心とするエレクトロニクス市場は変動性が激しいことから、当資料に全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。

TAIYO YUDEN